



長浜小だより

浜田市立長浜小学校 令和3年 3月 1日発行

校長 濱崎 政寿

3月号

【教育目標】：自立と共生を目指し、豊かな心と確かな学力を
持ち、健康で明るくたくましい児童の育成

もうすぐ卒業 もうすぐ進級

春の日差しを受けながら、木々の芽が少しずつふくらんできました。本格的な春がすぐそこまできています。



さて、3月19日（金）は、卒業証書授与式です。卒業生が6年間の思い出を胸に長浜小学校を巣立ちます。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、卒業生、在校生（5年生のみ）、保護者の皆様、職員で規模を縮小して実施します。在校生は5年生のみの出席とします。そして、3月24日（水）は修了式です。1～5年生が今年度の課程を修了します。

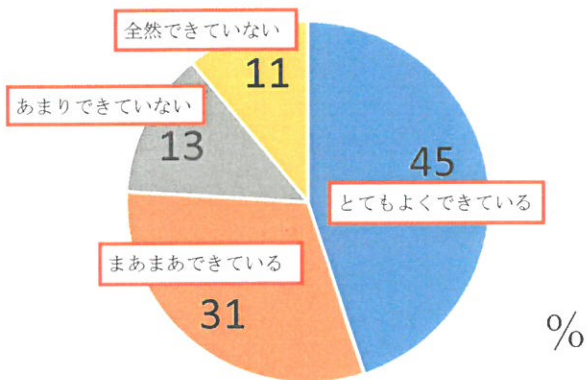
保護者の皆様方、地域の皆様方、支えてくださった全ての皆様方ありがとうございました。「長浜小だより」も最終号となりました。

進んで読書

12月に実施した児童対象アンケートに、「進んで本を読んでいますか」という設問がありました。結果は以下の通りです。「とてもよくできている」、「まあまあできている」「あまりできていない」、「全然できていない」割合です。昨年度に比べると、肯定的な評価の合計は少し低くなっています。

《児童対象》

【進んで本を読んでいますか】

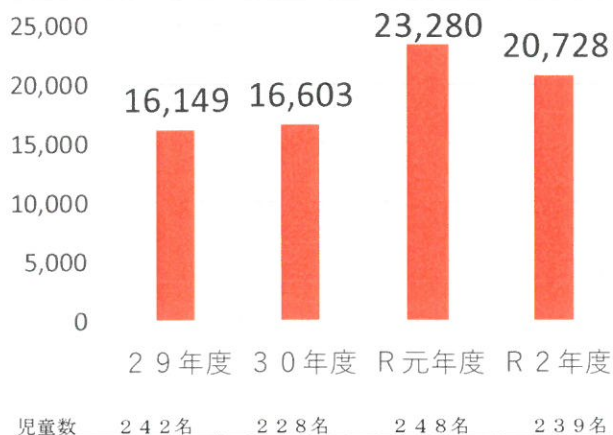


長浜小学校の児童の4人に一人が否定的な回答をしています。子どもたちの基礎学力や情操を育てていくときに読書は重要です。本好きな子どもたちにしていくために今後も様々な取組をしていきたいと思っています。

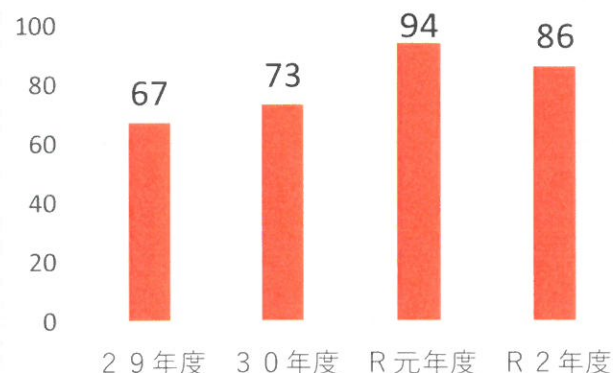
それが、子どもたちのメディア接触時間の短縮にもつながると思います。小学校高学年のスマートフォン所持率が大幅に伸びていると、ある会社の調査結果が新聞で報道されました。長浜小学校の実態ではありませんが、メディア接触時間が長いのは長浜小学校においても大きな課題です。

最近4年間の学校図書館の活用状況

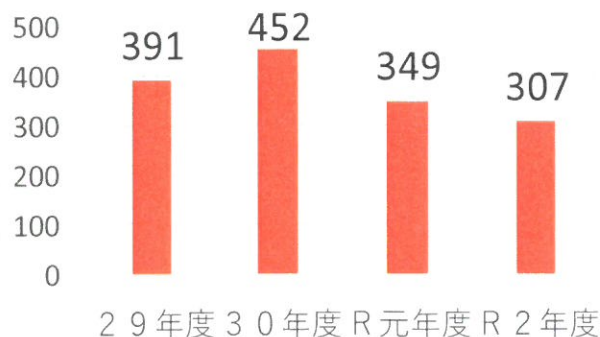
総貸出冊数（全校）



平均貸出冊数の数（一人）



図書館活用授業時間



経年変化を見てみますと、今年度は昨年度に比べ、貸出冊数やや減少していることがわかります。コロナ禍の中でリフレッシュタイムや昼休みに、マスクをはずして屋外で過ごす子どもが増えたことと関係しているかもしれません。

今後も学校図書館の活用を推進するとともに、「寝る前のメディア接触を減らす」「メディア接触についての家庭のルールを作る」などのことをご家庭と一緒に進めていきたいと思っています。

学習発表参観日

新型コロナウイルス感染防止のために、例年11月に実施している学習発表会を1月と2月に分けて、学年毎に発表時間も変えて学習発表参観日として実施しています。2回目の25日(木)は、2・3・4年生の学習発表参観日でした。

4校時は、2年生が「明日へジャンプ」をテーマに発表しました。九九、なわとび、合奏、合唱を披露しました。九九を九の段まで発表しました。なわとびは、あやとび、交差とび、二重とびなど、いろいろなとび方をしました。そして、「山のボルカ」、「子ぎつね」の合奏をしました。最後にみんなで「はじめの一步」の合唱をしました。

5校時は、3年生が「みんなが幸せになるために」をテーマに総合的な学習で4つのグループに分かれて学んだことを発表しました。たくさんのことを学んで、みんなが幸せな世界をつくってこうという気持ちが強くなりました。最後に「パブリカ」を英語で歌いました。

6校時は、4年生が2分の1成人式をしました。「できるようになったこと」、「なりたい自分」、「なりたい人」、「感謝の言葉」を発表しました。最後に「虹」を合唱しました。この日に撮影し、メッセージを書き込んだ写真はタイムカプセルに入れて二十歳になったときに開封します。



新1年生との交流会

2月18日(木)に来年度入学する新1年生の物品販売に併せ、1年生と新1年生の交流会をしました。保護者の方々が学校の説明を聞かれたり、入学後に使う物品を購入されている時間に、新1年生が1年生と一緒に楽しい時間を過ごしました。

1年生が体育館で司会進行や運営をしました。長浜小学校についての紹介や「〇×クイズ」などをした後、学校探検をしました。1年生が新1年生と手をつないで一緒に校舎を探検しました。手をつないでいる様子から、1年生が新1年生をいたわるやさしい気持ちが伝わってきました。

体育館に戻って、最後にあさがおの種のプレゼントを一人一人に渡しました。受け取った新1年生はうれしそうでした。感想発表では、新1年生も手を挙げて発表することができました。



余話

私の息子の一人が昨年4月から1年間、県外で勤務しています。一昨年初めての子どもが生まれています。コロナ禍の中で、この1年、私たちとの行き来は全くできず、一昨年の秋から直接顔を合わせていません。一日千秋の思いで4月になるのを待っています。

転勤したばかりの頃は、それまでと同様、日々成長する孫の写真がメール添付で送られてきました。しかし、いつの頃からかSNSで互いの様子を送受信するようになりました。週末のやり取りですが、ハイハイができなかった孫が、つまり立ちして、歩けるようになり、今は小走りをして絵本を見るようになっていました。直接の関わりが全くないのに、大きくなり、いろいろなことができるようになるので不思議な感じです。

ある日の息子からのメールに「動画でのやり取りもいいけど、幼児期からスマホに関わらせるのはどうかなと思う。」と記されていました。毎週末の動画でのやり取りを何よりの楽しみとしている私ですが、少し考えさせられました。息子はいつのまにか親になっていました。私は気づかぬうちにあやうく無責任な祖父になってしまいそうでした。もちろん孫が操作をしているのではないのですが、私は関わらせること自体について、あまり深く考えていませんでした。

◎こちらからは特に必要のない連絡はとらない。

◎動画でのやり取りは10分以内とする。 の2つをこちら側のルールとすることにしました。

これからの世の中、メディアとの付き合い方は祖父母にとっても大きな課題です。子育て・親育ての関係は、一生続くというのが私の持論ですが、最近子どもに教えられることが多いです。

この「余話」も今年度最後となりました。



4月行事

- 8日(木) 着任式 始業式
- 9日(金) 入学式
- 12日(月) 給食開始 PTA評議員会
- 22日(水) 参観日 PTA総会
- 29日(木) 昭和の日

